

2022年度幼児カテゴリー 指導計画

今年度振り取り

1.基本方針・スローガン
低学年カテゴリーに向けた基礎体力/基本動作を身につける。ラグビーを通じて仲間を作り、スクール活動、
2.全体目標
①元氣なあいさつ。 ②集合の声がかかったらランニングで集まる。 ③基礎体力向上。 ④タグラグビーのルール理解。 ⑤プレイ中の声だし/仲間への声かけ定着。(タグ！マイボール！がんばれ！ナイストライ/ナイスタグ！等)
3.スケジュール
第1四半期【4月～6月】 ・声を出す(あいさつから)。集合がかかったらランニングで集まる。 ・氷鬼、リレー競争など遊びを取り入れた練習で基礎体力をつける。 ・ボールを両手で持つ。プレイ中の声だし/仲間への声かけ。タグの取り方を覚える。 ・タグラグビーのルール理解。 ・コーチ他、人の話を聞き、理解し、実践する。 ・タッチライン、オフサイドラインの意識付け。普段の練習からスタートライン、ホイッスル順守の必要性を意識する。
第2四半期【7月～9月】 ・パス/キャッチの基本習得。 ・試合形式の練習で前進する事、スペースへの切り込みを身に着ける。
第3四半期【10月～12月】 ・1on1でのオフェンス/ディフェンスに磨きをかける。 ・都大会では、全員がトライを出来るようにする。 ・パスを組み込んだ練習の開始。
第4四半期【1月～3月】 ・試合形式の練習でパスを実践する。
※ 年間を通して、グラウンドの状態に合わせて、前転・後転など基礎的な全身運動も取り入れ、ケガを防止する。
4.備考(自由記入欄)
・安全面を最大限重視し、遊びを取り入れた練習で将来の競技としてのラグビーにつながる体の使い方を身につけてもらえるよう工夫したいと考えます。 ・幼児は年長と年中/年少で身体面の大きな差が出てくるので、段階的な練習グループ分け検討が必要。 ・年度途中からの新規入校も多く、指導者、コーチは初体験の方が多く、密なコミュニケーションを心掛けたい。 ・保護者の方には原則として練習の協力、子どもたちの見守りに継続協力いただく。

1.良かった事、よく出来た事

- ・練習開始/終了時の元氣なあいさつが出来ている。フィールドにいるコーチ陣・保護者に練習を盛り上げてもらっている。
- ・基礎体力向上のため、チーム別かけっこや、氷おに、だるまさんが転んだなどの遊びで走らせる練習内容を組んだ。

- ・タグラグビーのルールは試合数を重ねる事で、ある程度は理解している。
- ・タグのコール、フリーパス→アタック→タグ発生→後ろにパスまでの一連の流れを練習。
- ・試合や練習で前向きに参加する様になってきている子供も出てきた。
- 2.課題(例：運営して行く中で発生したもの、または年度計画の当初に掲げた時間が掛けているもの等)
- ・穴の無いディフェンスラインの形成。
- ・選手人数が少な目。。？都大会エントリーが1~2チームが精いっぱい？
- ・体験の子と既存の子の練習でのマッチング。体験でいかに興味持ってもらって、入会してくれるか。
- ・救急箱にバンドエイドがない。用具は定期的な確認は必要。
- ・選手毎の体力、集中力、ルールの理解度に大きな差がある。

- 3.②の課題に関する状況(現在の状況はどうか)
- ・都大会にてディフェンスラインの意識づけを実施させている。年長者による声掛け実施。
- ・体験は増えてきているので、いかに体験者が練習になじんで、入会につなげるかが肝。

4.今年度の残りの期間、何に注力して行くか(いくつでも)

- ・実戦でパスを組みこんでいく。